

SEMIMAR 生命科学セミナー

繰り返し模様のデザイン

「生き物はどうやってタイリングパターンを作るか？」

金沢大学 新学術創成研究機構
佐藤 純 教授 (Prof. Makoto Sato)

4月19日(金) 17:00-18:00
先端科学研究棟1階セミナー室(大)

全く同じ模様が繰り返し配置されたタイリングパターンは、エッシャーの作品などの人工的なデザインにかぎらず、自然界の様々な場面でも見られます。例えばミツバチの巣、アルマジロのうろこ、昆虫の複眼など。物理的には六角形の方がより自然で安定であると言われてはいますが、生物は六角形でも四角形でも、誰が命令したわけでもないのに、自発的にこのようなタイリングパターンを作り出します。このセミナーでは、様々なタイリングパターンを示すショウジョウバエと数理モデルを組み合わせて、生き物がタイリングパターンを作る仕組みを明らかにします。

京都大学大学院生命科学研究科

連絡先 システム機能学分野

井垣達吏 内線番号 7684